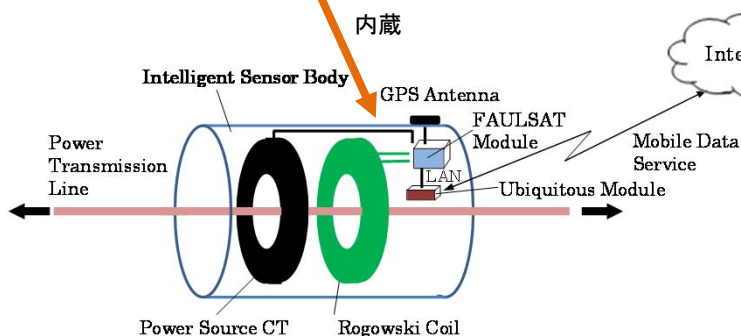
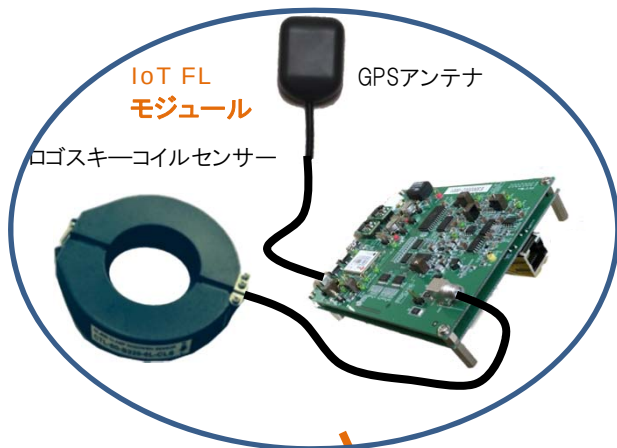


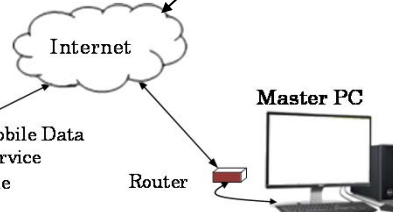


予知保全のAIデータを提供

FAULT LOCATION To The Next Generation



在来仕様 19インチ盤取付型
事故点標定装置 TELESKAN



GPS 衛星を利用した送電線故障サージ検出方式 故障点位置標定システム

特徴

- GPS の受信信号を時刻同期として利用
- 送電線への直付けによるドラムセンサの利用により多分岐線路においても事故点標定可能
- IoT FL モジュールは変電所、電柱などのキュービクル内への設置も可能
- 雷故障から地絡／短絡故障まであらゆる故障点の位置標定が可能
- 6.6kVから超超高压までの架空、地中、海底電線、それらの混在電線までAC、DCを問わずに標定可能
- サージ取込みは光センサ、電磁界センサ、ログスキーセンサ、CT 等を用途に応じ使用可能
- 標定精度: 架空送電線 約±300m、地中、海底電線 約±125m
- 通信回線: LAN、シリアル、モデム、WiFi、携帯電話回線ルータ等を使用可能
- 多端子送電線に適用可能
- スマートグリッド向けに送配電システムの安定化に必要。(太陽光、風力、バイオ等の自然に依存するエネルギー源の切り替えと負荷ルートの再割当てには送配電システムが安定に確保されていることが前提。)

主要諸元

■ 適用可能線路条件(標準仕様)

架空送電線または電力ケーブル
監視線路回線数 標準2回線(増設可能)
多分岐線路 標準3分岐(増設可能)
系統電圧 6.6kV～1,000kV以上の超超高压

■ 通信回線

LAN 10Mbps 以上
シリアル RS-232C 115,200bps以下
メンテナンスポート 38,400bps

■ 故障検出

既設保護リレー盤から接点入力
トリップ自己検出機能も内蔵
親局 PC にトリップ信号入力も可能

■ サージ取込み手段

電磁界センサ、ログスキーセンサ、CT、光センサ
(その他は別途ご相談)

■ 自己診断機能

定時、手動模擬標定によるシステムチェック

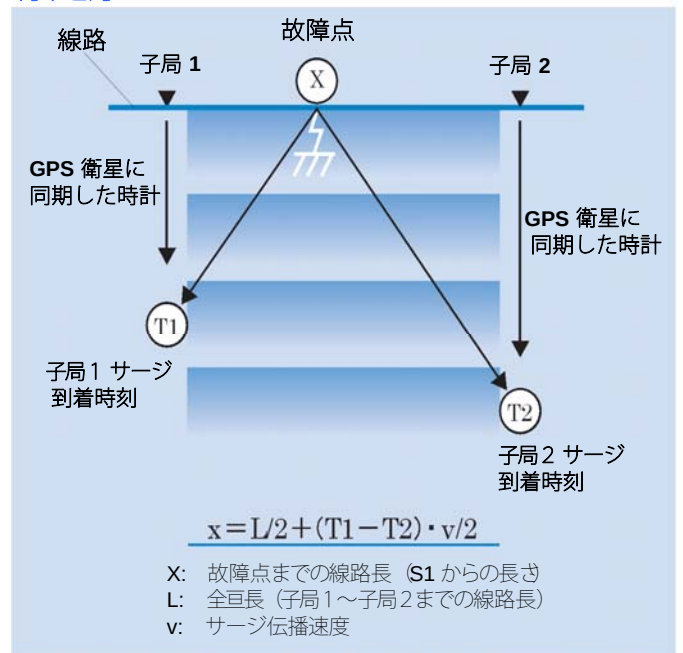
■ アラーム接点出力

標定動作時 装置異常時

■ 寸法、重量(標準仕様)

在来型: 幅 450mm × 高 177mm × 奥行 296mm 約 15kg
IoT FL モジュール: 幅 95mm × 高 32mm × 奥行 120mm 0.18Kg

標定原理



お問い合わせ 株式会社オリオンコーポレーション
TEL: 0439-27-0319
E-mail: info@orion-corp.co.jp

